

## 令和6年第1回朝霞和光資源循環組合議会定例会会議録

### 目 次

2月6日(火)	○議事日程(第1号) .....	1
	○本日の会議に付した事件 .....	1
	○出席議員 .....	2
	○欠席議員 .....	2
	○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者 .....	2
	○職務のため出席した事務局職員 .....	2
	○開会と開議の宣告 .....	3
	○議席の指定 .....	3
	○会議録署名議員の指名 .....	4
	○会期の決定 .....	4
	○朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙 .....	4
	○副議長就任挨拶 .....	5
	○日程の追加 .....	5
	○朝霞和光資源循環組合議会議長辞職の件 .....	6
	○日程の追加 .....	7
	○朝霞和光資源循環組合議会議長の選挙 .....	7
	○議長就任挨拶 .....	8
	○日程の追加 .....	8
	○朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙 .....	8
	○副議長就任挨拶 .....	9
	○議会運営委員会委員の選任 .....	9
	○諸報告 .....	10
	○管理者提出議案の上程 .....	11
	○管理者提出議案の提案説明 .....	12
	○管理者提出議案に対する質疑及び管理者提出議案に対する 討論・採決 .....	15

○一般質問	2 8
○閉会中の継続審査	4 5
○閉議と閉会の宣告	4 5

令和 6 年第 1 回朝霞和光資源循環組合議会定例会

令和6年第1回朝霞和光資源循環組合議会定例会

○議事日程（第1号）

令和6年2月6日（火曜日）午後2時00分開会

開 会

開 議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙

（追加日程）

第4の2 朝霞和光資源循環組合議会議長辞職の件

第4の3 朝霞和光資源循環組合議会議長の選挙

第4の4 朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙

第5 議会運営委員会委員の選任

第6 諸報告

（1）議長報告

（2）管理者報告

第7 管理者提出議案の上程

第8 管理者提出議案の提案説明

第9 管理者提出議案に対する質疑

第10 管理者提出議案に対する討論・採決

第11 一般質問

第12 閉会中の継続審査

閉 議

閉 会

---

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員 10名

1番	岡崎和広	議員	2番	小池貴訓	議員
3番	高堀亮太郎	議員	4番	遠藤光博	議員
5番	田辺淳	議員	6番	富澤啓二	議員
7番	待鳥美光	議員	8番	安保友博	議員
9番	鳥飼雅司	議員	10番	鎌田泰春	議員

---

欠席議員 なし

---

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者

柴崎光子	管理者
富岡勝則	副管理者
紺清公介	会計管理者
永野淳	事務局長
森田一広	事務局次長
高野晴之	施設課長
飯泉博明	施設課長補佐

---

職務のため出席した事務局職員

永峯孝之	書記
高橋優樹	書記
進藤直人	書記

午後 2 時 0 0 分 開会

○永峯孝之書記 皆様、こんにちは。

事務局より御報告いたします。

朝霞市選出の組合議会議員の任期が令和 5 年 12 月 17 日までであったことから、現在、朝霞和光資源循環組合議会副議長が不在となっております。

なお、朝霞市議会では、選挙の結果、岡崎和広議員が新たに朝霞市議会議長に当選されました。

また、朝霞市議会選出の議員として、小池貴訓議員、高堀亮太郎議員、遠藤光博議員、田辺淳議員が選任されましたことを御報告いたします。

以上で報告を終わります。

---

#### ◎開会と開議の宣告

○富澤啓二議長 皆様、こんにちは。

ただいまから令和 6 年第 1 回朝霞和光資源循環組合議会定例会を開会します。

出席議員数が定足数に達していますので、会議は成立しています。

ここで、先ほど事務局から新議員の紹介がありましたが、朝霞市議会選出の岡崎和広議員から順次、自己紹介をお願いいたします。

○岡崎和広議員 皆様、こんにちは。朝霞市選出の岡崎和広でございます。よろしくお願いいたします。

○小池貴訓議員 皆さん、こんにちは。朝霞市議会選出の小池貴訓と申します。皆さん、よろしくお願いいたします。

○高堀亮太郎議員 こんにちは。朝霞市議会議員の高堀亮太郎です。よろしくお願いいたします。

○遠藤光博議員 こんにちは。同じく朝霞市議会議員、遠藤光博です。よろしくお願いいたします。

○田辺 淳議員 同じく田辺淳です。よろしくお願いいたします。

○富澤啓二議長 ありがとうございます。

それでは、これより会議に入ります。

---

#### ◎議席の指定

○富澤啓二議長 日程第1、議席の指定を議題といたします。

本組合に新たに選任された議員の議席は、朝霞和光資源循環組合議会会議規則第4条第1項の規定により、議長において指定いたします。

議員の氏名とその議席の番号を事務局より朗読させます。

○永峯孝之書記 それでは、朗読させていただきます。

1番、岡崎和広議員、2番、小池貴訓議員、3番、高堀亮太郎議員、4番、遠藤光博議員、5番、田辺淳議員、以上でございます。

○富澤啓二議長 ただいま朗読いたしましたとおり議席を指定いたしました。

---

#### ◎会議録署名議員の指名

○富澤啓二議長 次に、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

朝霞和光資源循環組合議会会議規則第119条の規定により、議長により会議録署名議員を指名します。

2番、小池貴訓議員、8番、安保友博議員、以上2名を指名いたします。

---

#### ◎会期の決定

○富澤啓二議長 次に、日程第3、会期の決定についてお諮りします。

本定例会の会期は、本日1日限りと決定したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○富澤啓二議長 御異議ないものと認めます。よって、会期は、本日1日限りと決定しました。

---

#### ◎朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙

○富澤啓二議長 次に、日程第4、朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙を議題といたします。

お諮りいたします。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○富澤啓二議長 御異議ないものと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

お諮りいたします。

指名の方法については、議長において指名することにしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○富澤啓二議長 御異議がないものと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

副議長に、岡崎和広議員を指名いたします。

お諮りします。

ただいま議長において指名しました岡崎和広議員を副議長の当選人と定めることについて御異議はございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○富澤啓二議長 御異議ないものと認めます。よって、ただいま指名いたしました岡崎和広議員が副議長に当選されました。

これをもって、組合議会会議規則第32条第2項の選挙結果の告知とさせていただきます。

---

#### ◎副議長就任挨拶

○富澤啓二議長 副議長に当選された岡崎和広議員、御挨拶をお願いいたします。

○岡崎和広副議長 皆様、こんにちは。

ただいま富澤議長より指名いただきまして、副議長の大任を拝しました岡崎和広でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○富澤啓二議長 この際、暫時休憩します。

再開は5分後の2時10分といたします。

---

午後2時05分 休憩

午後2時07分 再開

---

○岡崎和広副議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

この際、議長職を代行しますのでよろしくお願いいたします。

---

#### ◎日程の追加



○岡崎和広副議長 ただいま、富澤議長から議長の辞職願が提出されました。

お諮りします。

この際、富澤議長の議長辞職の件を日程に追加し、日程の順序を変更し、直ちに議題とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広副議長 御異議なしと認めます。よって、この際、富澤議長の議長辞職の件を日程に追加し、日程の順序を変更し、直ちに議題とすることに決しました。

---

#### ◎朝霞和光資源循環組合議会議長辞職の件

○岡崎和広副議長 これより日程第４の２、朝霞和光資源循環組合議会議長辞職の件を議題といたします。

地方自治法第117条の規定により、本件は富澤議長の一身上に関しますので、暫時、富澤議長の退席を求めます。

〔富澤啓二議長退場〕

○岡崎和広副議長 事務局に辞職願を朗読させます。

○永峯孝之書記 それでは、朗読いたします。

令和６年２月６日。

朝霞和光資源循環組合議会副議長 岡崎和広様。

朝霞和光資源循環組合議会議長 富澤啓二。

辞職願。

今般、一身上の都合により議長の職を辞職いたしたく、ここに辞職願を提出いたします。

以上でございます。

○岡崎和広副議長 お諮りします。

富澤議長の議長辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広副議長 御異議なしと認めます。よって、富澤議長の議長辞職を許可することに決しました。

富澤議員の入場を求めます。

〔６番 富澤啓二議員入場〕

○岡崎和広副議長 富澤議員、御挨拶をお願いします。

○富澤啓二議員 富澤でございます。

微力ながら、議会の進行を皆様の御協力を得ましたことを、大変ありがたく、また感謝をいたします。ありがとうございました。

○岡崎和広副議長 ありがとうございました。

---

#### ◎日程の追加

○岡崎和広副議長 ただいま、議長が欠員となりました。

お諮りします。

この際、朝霞和光資源循環組合議会議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広副議長 御異議なしと認めます。よって、この際、朝霞和光資源循環組合議会議長の選挙を日程に追加し、選挙を行うことに決しました。

---

#### ◎朝霞和光資源循環組合議会議長の選挙

○岡崎和広副議長 これより日程第4の3、朝霞和光資源循環組合議会議長の選挙を議題いたします。

お諮りします。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広副議長 御異議ないものと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

お諮りします。

指名の方法については、推薦される方をお諮りしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広副議長 御異議ないものと認めます。議長を推薦された後に、副議長において指名することに決しました。

どなたか推薦される方はいますか。

遠藤議員。

○遠藤光博議員 岡崎和広議員を推薦いたします。

○岡崎和広副議長 わたくし、岡崎和広との声がありましたので、朝霞和光資源循環組合議会議長に、岡崎和広議員を指名いたします。お諮りします。

ただいま副議長において指名いたしました私、岡崎和広を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広副議長 御異議ないものと認めます。よって、私、岡崎和広が議長に当選しました。

これをもって、組合議会会議規則第32条第2項の選挙結果の告知とさせていただきます。

---

#### ◎議長就任挨拶

○岡崎和広議長 議長に当選いたしましたので、御挨拶をさせていただきます。

ただいま、御推挙いただきまして議長の大任を拝しさせていただきました。これからしっかりと円滑な議事運営に取り組んでまいりますので、どうぞ皆様、御協力のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

議事を進行いたします。

---

#### ◎日程の追加

○岡崎和広議長 ただいま、副議長が欠員となりました。

お諮りします。

この際、朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議なしと認めます。よって、この際、朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙を日程に追加し、選挙を行うことに決しました。

---

#### ◎朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙

○岡崎和広議長 これより日程第4の4、朝霞和光資源循環組合議会副議長の選挙を議題いたします。

お諮りします。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議ないものと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

お諮りします。

指名の方法については、議長において指名することにしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議ないものと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

朝霞和光資源循環組合議会副議長に富澤啓二議員を指名いたします。

お諮りします。

ただいま議長において指名しました富澤議員を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議ないものと認めます。よって、富澤啓二議員が副議長に当選されました。

これをもって、組合議会会議規則第32条第2項の選挙結果の告知とさせていただきます。

ただいま副議長に当選されました富澤議員に、本席より当選の告知をいたします。

---

#### ◎副議長就任挨拶

○岡崎和広議長 当選されました富澤副議長の挨拶を求めます。

富澤副議長。

○富澤啓二副議長 ただいま副議長に推薦されました富澤でございます。

しっかりと岡崎議長をサポートすることに尽力したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○岡崎和広議長 ありがとうございました。

---

#### ◎議会運営委員会委員の選任

○岡崎和広議長 次に、日程第5、議会運営委員会委員の選任を議題といたします。

現在、朝霞市議会議員の改選に伴い、議会運営委員会委員が2名欠員となっております。

議会運営委員会委員の選任については、朝霞和光資源循環組合議会委員会条例第6条第1項の規定により議長により指名したいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議ないものと認め、議会運営委員会委員を指名いたします。

新たな議会運営委員会委員につきましては、2番、小池貴訓議員、4番、遠藤光博議員、以上2名を指名いたします。

ただいま指名しました2名を選任することに決定いたします。

議会運営委員会の委員の皆さんは、次の休憩中に委員会を開き、朝霞和光資源循環組合議会委員会条例第7条第2項の規定により現在不在となっている委員長の互選を行い、その結果の報告を願います。

ここで、暫時休憩いたします。

議会運営委員会の会場は第2委員会室です。

再開の目安は2時25分としますが、議会運営委員会終了後、直ちに再開いたします。

---

午後2時15分 休憩

午後2時21分 再開

---

○岡崎和広議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまの休憩中に議会運営委員会の委員長の互選をお願いしたその結果について報告します。

委員長に8番、安保友博議員。また、副委員長であった安保友博議員が委員長に就任したことに伴い、副委員長が不在となったため、副委員長の互選が行われました。その結果についても報告します。副委員長に4番、遠藤光博議員。以上、御了承願います。

---

### ◎諸報告

○岡崎和広議長 次に、日程第6、諸報告を行います。

監査委員から令和5年10月分、11月分、12月分の例月出納検査の報告及び定例監査の結果報告がありましたので、お手元に写しを配付しておきました。

以上、御了承願います。

次に、管理者報告について、柴崎管理者から挨拶と報告のため発言が求められておりますので、これを許します。

柴崎管理者。

○柴崎光子管理者 皆さん、こんにちは。

本日は、令和6年第1回朝霞和光資源循環組合議会定例会を招集申し上げましたところ、組合議員の皆様には御多用のところ御参集を賜りまして、ありがとうございます。

それでは、議長のお許しをいただきましたので、組合の事業について管理者報告をさせていただきます。

令和5年11月から令和6年1月までの組合事務について御報告申し上げます。

初めに、総務関係ですが、11月28日に実施された令和5年度の定例監査の結果報告書が監査委員から管理者宛てに提出されましたので、組合ホームページに公表しております。

次に、施設建設関係では、前回の組合議会時に開催させていただきました全員協議会において御報告申し上げましたとおり、ごみ広域処理施設整備・運営事業の入札中止を受けまして、昨年11月に事業期間や事業スケジュールの見直しを行い、関係機関に報告をさせていただきました。

また、12月15日には、本年4月に予定しております再公告に向けて、それら内容を盛り込んだ実施方針を組合ホームページに公表したところでございます。

なお、現在は予定価格を決定するための資料とするために、プラントメーカーに対して再見積り等の調査を行っているほか、他公共団体における直近の入札事例調査等を実施しているところでございます。

次に、ごみ広域処理施設建設用地における都市計画決定の手続きでございますが、12月1日から同月15日までの間、都市計画法第17条に基づく縦覧手続を実施いたしました。その後、12月27日には和光市都市計画審議会の審議を経て、1月12日付で和光都市計画の変更について決定をし、公告されたところでございます。

今後は、4月の再公告に向けて、募集資料等について改めて事業者選定委員会において御審議をいただくとともに、各種調査の結果を踏まえまして、予定価格の精査を進めてまいります。

以上、簡単ですが、開会に当たりまして挨拶並びに管理者報告とさせていただきます。

---

#### ◎管理者提出議案の上程

○岡崎和広議長 次に、日程第7、管理者提出議案の上程について、管理者から議案の提出がありましたので、報告します。

議案については、あらかじめ配付してありますので、御了承願います。

なお、議案の件名の朗読及び議案の朗読につきましては、議会運営委員会にて省略することを御了承いただいております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議がないものと認め、議案の件名の朗読及び議案の朗読は省略いたします。

---

#### ◎管理者提出議案の提案説明

○岡崎和広議長 次に、日程第8、管理者提出議案の提案説明を求めます。

柴崎管理者。

○柴崎光子管理者 それでは、本議会に提案する議案について、順次説明いたします。

今回提案いたしました議案は、令和6年度一般会計予算1件、令和5年度一般会計補正予算1件、条例改正1件の合計3件となります。

初めに、議案第1号、令和6年度朝霞和光資源循環組合一般会計予算について御説明いたします。

一般会計の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億8,286万3,000円と定めており、前年度と比較して6億1,303万9,000円の減少となっております。

次に、議案第2号、令和5年度朝霞和光資源循環組合一般会計補正予算（第3号）について説明いたします。

今回の補正予算につきましては、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,000円を増額し、補正後の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億8,680万9,000円とするものでございます。

次に、議案第3号、朝霞和光資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について御説明いたします。

令和5年人事院勧告に準拠し、職員の給料表の改定及び職員の期末手当並びに勤勉手当の支給割合を改定するものです。

詳細につきましては、事務局長から説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

○岡崎和広議長 次に、議案の細部の説明を求めます。

永野事務局長。

○永野 淳事務局長 それでは、議案第1号から第3号について順次、御説明いたします。

初めに、議案第1号、令和6年度朝霞和光資源循環組合一般会計予算について御説明いたします。

一般会計予算及び予算説明書の1ページを御覧ください。

第1条では、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億8,286万3,000円と定めるものがございます。

第2条の債務負担行為につきましては、4ページの第2表において、事項、期間及び限度額を定めており、ごみ広域処理施設整備運営事業建設工事と運營業務委託及びごみ広域処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託料について設定しております。

第3条では、歳計現金が不足した場合に、その不足を補うための一時借入金の最高額を1億円と定めるものがございます。

それでは、10ページをお開きください。

初めに、主な歳入について御説明いたします。

第1款分担金及び負担金の構成市負担金は3億7,689万1,000円を計上しており、構成市ごとの負担金額は朝霞市が1億2,600万5,000円、和光市が2億5,088万6,000円となっております。

第2款国庫支出金は、ごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託料（施設建設）の財源として循環型社会形成推進交付金として396万円を計上しております。

第3款使用料及び手数料は、取得した用地に係る電柱等の行政財産使用料を計上しております。

第4款財産収入は、財政調整基金運用利子を計上しております。

第5款繰越金については、前年度繰越金として200万円を計上しております。

第6款諸収入は、歳計現金と歳計外現金に係る預金利子を計上しております。

14ページをお開きください。

主な歳出について御説明いたします。

第1款議会費は、議員報酬や会議録作成業務委託料などの議会運営に係る経費で311万6,000円を計上しております。

第2款総務費、第1目一般管理費は、特別職報酬、一般職員の給料及び職員手当などのほか、組合運営に必要な経費として8,855万6,000円を計上しております。



16ページをお開きください。

第2目公平委員会費は、公平委員会委員報酬など2万8,000円を計上しております。

第1項総務管理費の合計は8,858万4,000円でございます。

第2項監査委員費は、監査委員報酬など28万6,000円を計上しております。

次に、第3款衛生費、第1目施設建設費は、報酬としてごみ広域処理施設整備運営事業者選定委員会委員報酬、委託料としてごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託料（施設建設）に係る経費などを計上しております。衛生費は合計で1,272万3,000円でございます。

第4款公債費は、組合債の元金及び利子の償還金及び一時借入金利子償還金として1億4,293万4,000円を計上しております。

第5款諸支出金は、財政調整基金積立金として財政調整基金運用利子と和光市財政平準化分を合わせまして1億2,722万円を計上しております。

第6款予備費は800万円を計上しております。

以上、議案第1号、令和6年度朝霞和光資源循環組合一般会計予算の説明となります。

続きまして、議案第2号、令和5年度朝霞和光資源循環組合一般会計補正予算（第3号）について御説明いたします。

今回の補正予算につきましては、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,000円を増額し、補正後の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億8,680万9,000円とするものでございます。

まず、歳入でございますが、8ページをお開きください。

第4款財産収入、第1目利子及び配当金は、財政調整基金運用利子を増額し、3,000円とするものでございます。

次に、歳出でございますが、10ページをお開きください。

第5款諸支出金、第1目財政調整基金費は、財政調整基金積立金を増額し、2億5,793万5,000円とするものです。

次に、第2条の繰越明許費につきましては、4ページの第2表において、ごみ広域処理施設整備・運営事業に係る設計施工監理業務委託料（施設建設）など5事業につきまして、年度内に完成することが困難なため、翌年度に繰り越すものでございます。

以上が議案第2号の説明となります。

続きまして、議案第3号、朝霞和光資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について御説明いたします。

令和5年人事院勧告に準拠し、職員の給料表の改定及び職員の期末手当並びに勤勉手当の支給割合を令和5年度から年間で0.1月分引上げ、年間支給割合を4.5月分に改定するものです。

以上が議案第3号の説明となります。

以上で議案第1号から第3号までの提案説明を終わります。どうぞ御審議のほどよろしくお願いたします。

○岡崎和広議長 以上で議案に対する説明は終了しました。

---

### ◎管理者提出議案に対する質疑及び管理者提

#### 出議案に対する討論・採決

○岡崎和広議長 次に、日程第9、管理者提出議案に対する質疑と日程第10、管理者提出議案に対する討論、採決につきましては、議会運営委員会にて議案ごとに行うことを了承いただいております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議ないものと認め、管理者提出議案に対する質疑及び討論、採決は議案ごとに行うこととします。

質疑については、朝霞和光資源循環組合議会会議規則第50条第1項により全て簡明にするものとし、議題外にわたりまたはその範囲を超えないようお願いします。

また、会議規則第50条第3項の規定により質疑に当たっては、自己の意見を述べることはできませんので、御理解の上、議事進行に御協力ください。

なお、質疑の回数については、会議規則第51条の規定により同一議員につき同一議題について3回までですので、御了承願います。

また、答弁者側も簡潔な答弁により議事がスムーズに進行できるよう、皆さんの御協力をお願いいたします。

議案第1号、令和6年度朝霞和光資源循環組合一般会計予算について、議題とします。

議案第1号について質疑を許します。

田辺議員。

○田辺 淳議員 一般質問の通告はしているので、重なる部分もどうしても出てきてしまいますが、最初のこの組合の立ち上がりから1年ちょっとは私もここにいましたけれども、その後、2年間ブランクがありまして、広報も含めてね、情報がなかなかほかの議員にも、それ

ぞれの個々の住民にも届いていない部分があり、また、市民にも伝わっていない部分があるのかなと思うんですね。

12月の広報の文面を見ても、いわゆる今の状況は非常事態だと思うんですね。昨年の1年間の、一番、今回、この新たなごみ処理施設を建設する、この2市で建設するという部分で、今回の契約そのものが成り立たなかったということで、それは昨年の、具体的には夏から始まって、この間、また新たな再公告に向けた準備を今しているということだと思いますけれども、それも含めて、この予算の中には表に見えている部分が本当に少なく、例えば4ページ、5ページの債務負担行為ということで、限度額を定めているという説明を事務局長がされましたけれども、実際、限度額といっても具体的な金額は全く予算書に掲載されていないわけですから、また期間もね、20年あるいはそれ以上の期間も定めていて、非常にこの金額なり、この債務負担行為となるこの部分が、どれぐらいの金額に及ぶのかということが非常に重大なそれぞれの、和光市も朝霞市も、今後の財政の負担に絡む部分なので、一体どうなるのかということ。また、契約に関してもそれぞれ3つ載っていますけれども、これはそれぞれ分割した形で今後契約を結ぶのかということを確認したい。

それから、19ページの衛生費の施設建設費ですけれども、今まで3回、このごみ広域処理施設整備運営事業者選定委員会が開かれていたと思うんですね。それも昨年の早い時期でもう終わってそのままだと思うんですね。それはその後も、第3回が、おそらく1月、2月ぐらいにあったと思うんですね。その後、この間、どうしてきているのかね。開いたか開いていないのかということも含めて、また、この年度に、2人という形で報酬が設定されていますけれども、もともとこの事業者選定委員会の委員は2人だったのかということも含めて、こちらも確認したい。

それから、委託料のごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託料、これに関しても、今までの契約がどういう契約で、いつまでの契約になっている、それが補正もあるかもしれませんが、この新年度はどういう形で契約しようとしているのか、その内訳を確認したいなど。

取りあえず、それでいいです。

○岡崎和広議長 答弁願います。

森田次長。

○森田一広事務局次長 ただいま組合の広報について御質疑がありましたが、組合の広報に対する基本的な考えといたしましては、住民が必要と思われる情報を公開することが住民参加

の機会と捉えており、ホームページ等を活用して、積極的に住民に情報を発信し、開かれた組合となるよう努めているところでございます。

また、議員の皆様との情報共有は非常に重要なことと考えておりますので、時期や内容、広報等、どのように行っていくかという課題はございますが、なるべくお知らせさせていただけるようにと考えております。

以上でございます。

○岡崎和広議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 順次、御答弁申し上げます。

まず初めに、債務負担行為の限度額の件でございます。

限度額につきましては、本事業における建設工事費と運営業務委託費の内訳が民間事業者の提案によって変動するものであるほか、運営業務委託費につきましては、年度ごとのごみ処理量によって変動するものであるため、具体的な金額を設定することが困難であり、文言の表記とさせていただいております。

また、設計施工監理業務委託につきましても、監理業務ということで、建設工事費と関連がございますので、併せて文言の表記とさせていただいております。

また、想定予算の規模でございますが、現在、再見積り等調査の内容について精査するとともに、直近の落札事例を踏まえ検討を行っているところでございます。

見積り額には、リスクコストや査定を見込んだ費用等も含まれると考えられるため、引き続き、直近の入札動向や物価高騰の影響も踏まえた実勢価格について慎重に精査を行い、3月末を目途に予定価格を決定してまいりたいと考えております。

次に、債務負担行為について、3本計上させていただいておりますが、こちらについては、DBO事業としまして、一括での発注を想定しております。

続きまして、契約でございますが、整備・運営事業につきましては、落札者が決定後、基本協定を締結させていただき、その後、基本契約を、また、建設工事につきましては、建設工事請負契約を、運営業務につきましては、運営業務委託契約をそれぞれ締結する予定でございます。

続きまして、事業者選定委員会の関係について御答弁申し上げます。

これまでの委員会の開催の経過でございますが、当初、入札公告前の令和4年度に3回の会議を開催させていただき、委員委嘱のほか、選定スケジュールや実施方針、要求水準書、落札者決定基準等について審議をいただいております。

また、本来であれば、令和5年度に入札参加者から提出された技術提案書の審査を行う予定でしたが、入札が中止となったため、今後は再公告前の年度内に1回委員会を開催させていただきまして、再度公告入札に係る募集資料の審議等を行う予定としております。

また、令和6年度につきましては、予算にも計上させていただいておりますが、3回の委員会をもって提案の審査を行い、事業者の選定を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、委員についてでございますが、条例により学識経験者及び管理者が必要と認める者について委嘱するものとしてございますが、学識経験者につきましては、同種他事例における委員を歴任されているほか、建設検討委員会におきまして、施設整備基本計画に関する検討審議に携わっていただきました公益社団法人全国都市清掃会議の技術顧問荒井喜久雄様、埼玉県環境科学国際センターセンター長の酒井辰夫様、明星大学理工学部総合理工学科教授の宮脇健太郎様を委嘱させていただいております。

続きまして、基本計画策定等業務委託料についてでございます。

こちらにつきましては、当初、令和4年度までの事業者選定業務として実施する予定でしたが、入札中止を受けまして、先般の議会で債務負担行為を設定させていただきまして、令和6年度までの事業として12月に変更契約を締結させていただいたところでございます。

変更契約の内容につきましては、入札中止を受けまして、再公告に向けた資料の整理、また再見積り等調査、予定価格の設定支援等を追加させていただき、令和6年度につきましては、入札公告から提案書の提出までの作業について、改めてもう一度実施することによりまして、併せまして1,166万円の増額変更契約を締結させていただいたものでございます。

令和6年度につきましても、引き続き支援をいただきながら、事業者選定を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

すみません、選定委員の関係でございますが、学識経験者のほか、管理者が必要と認める者としましては、構成市の環境施策に関する審議も必要があることから、構成市に推薦依頼をさせていただきまして、両市それぞれ市民環境部長を委嘱させていただいたところでございます。

以上でございます。

○岡崎和広議長 質疑ありますか。

5番、田辺議員。

○田辺 淳議員 最初に広報の話を言っておきますが、ごみ広域処理施設整備運営事業者の選定について、令和5年4月に公告した、ごみ処理施設整備・運営事業の入札が、入札参加者の不在により中止となり、改めて令和6年度に再度公告入札を実施することになったため、新施設の建設が当初の予定より遅れ、令和12年度の稼働となる見込みですという、その部分だけ触れられて、あとは一切、何の情報も、市民に向けた情報はないわけですね。もちろん、一般の我々、議会の議員もここに来ない限りは、そういった情報は来ていないということで、だけれども、これ、非常に深刻な問題で、実際問題2年間遅れるというのは、つまり今回、6億円くらいですか、前年度よりも、この当初予算の金額が大幅に削減されているわけですが、それはやることがないからで、言ってみれば無駄足を踏むこの2年間が現実、この2年間はどちらかというと、事業者が選定されない限りは動かないという形になりますよね。

そういうことも含めて、また実際に再公告というのは、これは見積り自体も、当然今までの総額で言うと423億円でしたか、それぐらいの金額で設定されていたものが、当然のことながら、それをもっと予定価格を上げざるを得ないということになりますよね。

要は、そういうことに関して、何ら市民にはこれが伝わっていないという状況が今あると思いますよ。それに関して、この広報、新たな年度、この当初予算の年度中も含めてですけども、何らか市民にしっかりと広報するというのが筋ではないのかなということをまず確認をしたい。

それから、債務負担行為ですけども、ここには、ごみ広域処理施設整備運営事業建設工事というものと、それから、ごみ広域処理施設整備運営事業運営業務委託というものと、それから、ごみ広域処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託という3つあるわけですね。それを一括としたことの、監理業務委託は別ですよ。そこを確認したいのと、その監理業務に関して、その期間が令和11年度までというのは、建設がされるまでということなんでしょうけれども、その考え方をもう一度確認しておきたい。

それから、このごみ広域処理施設の事業者選定委員会は、先ほどの話ですと、この補正期間中に1回やって、この新たな年度中に3回を予定しているというような話だったようですが、そこは何ら市民も入っていない。市民が入っていたものとしては、施設建設検討委員会というものがあって、施設建設検討委員会で何をしてきたかと言えば、一番中心になる基本計画をつくったということですよ。

ところが、業務委託の中では、ごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託、またする

わけですね。この表現が、計画策定等業務委託。

またこの委託をするのであるならば、その基本計画を策定、そのまま全部直すというものではないにしても、何らかいじるということも含めて想定されていますけれどもね。であるならば、この施設建設検討委員会、そのために動いたものですよね。もう答申は確かにされていますけれども、答申をされて、それがそのとおりにやれそうもないということで、この部分に関しては何らか、何をいじるのか、予定なのか。いじるにしても、それは一応、市民の公募の委員も交えた検討委員会があって、その検討委員会での素案がね、一応パブリックコメントにかけられたと。あるいは市民説明会も行われたと。そういう経緯もたどって基本計画が策定されたと思うんですよ。

だから、それを仮に何らかいじるとするならば、その部分をなしでやるわけですか。いわゆる市民参加という部分も含めて、あるいは両議会のメンバーも含めて、そういったことは、状況が全く分からないままこれを進めてしまうのか。数字だけが独り歩きして決められて、それが、はい、報告しましたと、それで済むのかどうかということですね。報告する以前の問題として、これはしっかりと市民に伝えて、しっかりと現状を伝えて、金額を上げざるを得ないという了解を取って物事を進めるべきではないかと思うので、併せてお伺いしたいと思います。

○岡崎和広議長 答弁願います。

森田次長。

○森田一広事務局次長 ただいま広報につきまして、情報量が少ないことや、適宜というようなお話であったと思います。

先ほども御答弁させていただいたのですが、私どもの広報についての基本的な考え方はお話をさせていただいたのですが、時期や内容、方法等、そういったことが課題だとは考えておりますので、今後も同様な事業体等を参考にさせていただきながら、なるべく市民や議員の方々に情報が伝わるようにと考えております。

以上です。

○岡崎和広議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 順次、御答弁させていただきます。

まず、債務負担行為のうち、設計施工監理業務委託につきましては、先ほど一括と御答弁申し上げましたが、こちらについては別途、設計施工に関してチェックを行う業務となりますので、別途発注をする予定でございます。

発注方法については、今後検討してまいります。

続きまして、設計施工監理業務の考え方について御答弁申し上げます。

こちらにつきましては、要求水準書等に示す諸条件やごみ処理施設の各種機能、性能を満足させることを目的としまして、落札者が行う設計業務、また建設工事の各段階におきまして、設計建設事業者との協議を監督員とともに実施するほか、事業者が作成する設計図書や承諾図等の審査、また建設プラント工事における工程監理や現場施工状況の監理、性能検査等について専門技術的な視点から監督員をサポートいただく業務となっております。

履行期間につきましては、建設工事が終了となる令和11年度までの業務委託となっております。

続きまして、基本計画につきまして御質問いただいたかと思いますが、こちらにつきましては、施設の整備に関する基本的な考え方を取りまとめたものになっておりまして、こちらの策定に当たりましては、公募市民や自治会連合会、また組合議員の皆様、構成市の行政職員に、それぞれ御参加いただきまして、施設の骨格について検討してきたものでございます。また、パブリックコメント、説明会を経て、計画を策定したところでございますが、こちらにつきましては、今回の再度公告入札に当たりまして、また新しく作り直すというものではございません。費用については、確かに再度公告に向けて検討していくこともございますので、事業費の広報の在り方については、引き続き何らかの形で検討して対応してまいりたいと考えております。

以上です。

○岡崎和広議長 質疑ありますか。

5 番、田辺議員。

○田辺 淳議員 抜けていたので、もう一度、一緒に伺いますけれども、基本計画の策定業務委託料があるということはね、その金額が1,000万円超えるような金額だと思いますけれども、その2つ、この委託料で設定されている草刈と両方ある。草刈はそれほどの金額ではないでしょうから、こちらの策定委託料がメインであろうと思いますけれども、その金額が分かるのであればそれを教えていただきながら、これを、その委託をさらにまだ続けてやるというその具体的な中身としては何をするのかと。

それと一緒に動かしていたものとして、かつて検討委員会があったのではないですかという確認をしています。だから、その検討委員会は動かさないんですかという、その確認をしたいと思います。



○岡崎和広議長 よろしいですか。

答弁願います。

高野施設課長。

○高野晴之施設課長 御答弁申し上げます。答弁漏れ申し訳ございませんでした。

基本計画策定等業務につきましては、複合的な業務となっております。基本計画の策定のほか、P F I 等導入可能性調査、また事業者選定支援業務、費用対効果分析、旧ごみ焼却場の解体基本設計等の各種業務を含んだ包括的な内容となっております。

施設整備基本計画の策定業務につきましては、令和3年度と令和4年度に実施をしております。その間、建設検討委員会を設け、施設整備の基本的な考え方について諮問をさせていただき、答申を受け、計画を策定したところでございます。

今現在につきましては、令和5年度も含めまして、事業者選定支援業務のみを実施している状況でございます。来年度につきましては、再公告のための事業者選定支援を受ける形になってございます。

〔「金額は」と言う人あり〕

○高野晴之施設課長 基本計画策定等業務の業務内容別の内訳と合計額について御答弁申し上げます。

施設整備基本計画策定等業務につきましては、税込みで1,793万円、P F I 等導入可能性調査業務は948万2,000円、事業者選定支援業務は4,147万円、費用対効果分析業務は107万8,000円、旧ごみ焼却場解体基本設計は990万円、合わせまして7,986万円となっております。

○岡崎和広議長 ほかに質疑ありませんか。

〔発言する人なし〕

○岡崎和広議長 以上にて質疑を終結します。

議案第1号について討論を許します。

5番、田辺議員。

○田辺 淳議員 まあ、一般質問等でも言いますけれども、私は基本的にごみ焼却炉、もともとは2028年から稼働するという話で、それを2030年からのにするという、そこからね、最低でも20年間稼働しますというような話だと思いますけれども、そもそも私は、その2030年というのは、地球の今のこの気候変動、温暖化、今の暖冬と言われるような状況が続きましたけれども、地球環境が非常に今おかしい状況にあると言われる中で、その脱炭素ということが、

国際的な枠組みとして決められつつある中で、その2030年というのは一つの目標年度になっているわけですね。日本の国としても当然、炭酸ガスの排出、地球温暖化を来すようなガスの排出を抑制するという目標年度になっているわけですね。その目標年度から、新たな焼却炉の稼働を始めるというのは全くナンセンスだということは思っているわけですね。

そもそもがそのように思っている中で、結局、今回、非常に莫大なお金を、この2市で検討をしてきているわけですが、この間の、多分この議会の中でも質問されていた方がいらっしやったと思いますけれども、そもそも資源循環組合という組合、一部事務組合をつくってね、無駄な作業なり、先ほども無駄な時間がありましたけれども、そういった余計な仕事が非常に、その屋上屋を重ねるようなことがたくさんこの中である、議会も、その年度、毎年300万円以上のお金がこの議会の活動だけで使われているというのはもちろんですが、これから先、今まででも、朝霞市の負担金額は5億3,300万円、あるいは、和光市の負担は10億4,500万円、これは多分、解体だとかそういうことも含めた基金に、蓄積するというような意味合いもそこにあるんでしょうけれども、今後これから先、それこそ、今回は3億8,000万円という、非常に金額的には減ったわけですが、この減っている理由は、そもそも前年度は多分10億円をもう既に超えているその支出があるわけですが、当然、この新年度にそういった、それ以上の金額がそもそも出ていくのであったら、結局契約が不履行であったために金額も減額した形で、実質上、その中で使われるものとして、今、先ほど出ていましたけれども、非常に分かりにくい。我々が頂いている予算書なり資料も含めて、先ほどお答えいただいた金額を含めて、何ら我々は頂いていないんですね。

この継続して今行わざるを得ない事業者選定の事業ということで、無駄なお金がこの委託費なのか、あるいは委員会の再度設定をするということも含めて、この部分に重きが置かれて、あとは、本当に意味のない、申し訳ないけれども、職員の給料も含めて、非常に無駄に時間が過ぎてしまったというこの予算立てになっちゃっているというふうに思うんですね。

だから、私は、今なら、今ならまだ撤退というものを十分にできると。今であればね。

もう実際にこれ事業者を選定をしてしまったら、もうそれは、そこから先は契約ですから、それを撤退することはなかなか難しくなってしまいますけれども、これが最後のチャンスだということも含めて、やはりこの予算に対して、しっかりとそれぞれの市で精査をしていたしながら、無駄に今後もこの資源循環組合を動かしていくのかということも含めて考えていただきたいということを申し上げながら、反対をしたいと思います。

○岡崎和広議長 ほかに討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 以上にて討論……

2番、小池議員。

○小池貴訓議員 私は、この議案第1号、賛成の立場で討論をさせていただきます。

今回は、令和6年度朝霞和光資源循環組合一般会計のこちら3億8,286万3,000円とあります。

今現在、朝霞市及び和光市のクリーンセンターの状況としましては、非常にお互い老朽化が進んでおり、今後、お互いがこの組合議会を通じて、共同で新しいクリーンセンターを実施するに向けての必要な経費、そういった歳入歳出予算の総額であると私は認めております。

よって、こちらは一刻も早いクリーンセンターの建設業者の選定から、建設工事が終わって、全てが潤滑に進むように必要な措置だと私はそう考えておりますので、今回の議案第1号につきましては賛成といたします。

以上です。

○岡崎和広議長 ほかに討論ありますか。

〔発言する人なし〕

○岡崎和広議長 以上にて討論を終結します。

議案第1号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○岡崎和広議長 挙手多数です。よって、議案第1号、令和6年度朝霞和光資源循環組合一般会計予算については、原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第2号、令和5年度朝霞和光資源循環組合一般会計補正予算（第3号）について質疑を許します。

9番、鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 予算説明書の4ページ、5ページのところ、繰越明許費というところで伺いたいんですけども、このごみ広域処理施設の建設用地木柵等の設置工事、またその下のところのごみ広域処理施設建設用地購入費、また、ごみ広域処理施設建設用地取得に伴う補償金というところ、この3件について伺いたいんですけども、現状その用地取得というのは基本的に全部終わっているのか、それで、また繰り越されたということは、次年度に繰り越すということですね。その辺の状況と、その経過について伺いたいと思います。

○岡崎和広議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 繰越明許費の用地関連費用について御答弁申し上げます。

用地につきましては、地権者と既に契約を締結しておりますが、現在事業を営んでいる方につきましては、代替地への移転をお願いをしている関係で、組合としてあっせんを行い、三者契約を結んで組合としてサポートしながら今移転をいただいているところでございます。

移転の工事につきましても、昨今の建設事情の関係から受注者がなかなか決まらず、工事に着手できなかったことが原因となりまして、今時点においてまだ移転ができていないという状況でございます。そのため該当する土地2件につきましては、繰越明許費として計上させていただいた次第でございます。

また、この木柵設置工事につきましては、移転対象となっている土地が引き渡された後に車両等の出入り等を防ぐ目的で計上したものでございますが、こちらも併せて、引渡しが遅れることに伴い、同様に繰越しをさせていただくものでございます。

以上でございます。

○岡崎和広議長 質疑ありますか。

鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 状況は分かりました。

今後の計画、予定はどのように進めていくのか。令和6年度に入って、どのように進めていくのか、それも教えてください。

○岡崎和広議長 答弁願います。

高野施設課長。

○高野晴之施設課長 代替地への移転事業の状況、また今後の見込みについて御答弁申し上げます。

代替地への移転事業につきましては、先ほども御答弁させていただいたとおり、当組合があっせんを行っておりますが、被買収者へのヒアリングをさせていただいたところ、移転先への工事事業者が既に決定をして現場着手しております。施工者から提出された工程表によりますと、令和6年6月末頃には移転工事が完了する見込みと伺っておりますので、本体事業に支障がないように、引き続きサポートしながら事業を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○岡崎和広議長 質疑ありますか。

5 番、田辺議員。

○田辺 淳議員 公開されている情報、ホームページで見る限り基金の状況というのは、今どういう状況かというのはどこにも記載されていないのかなということを確認しながら、基金が今どういう状況にあるのかのことに關しては、いつ、議会のどの時点でその資料として出されるのか、教えていただきたいということと、財政調整基金ですが、実際には和光市と朝霞市の分、どういう形になるのか分かりませんが、こういった状況に今なっているのか、具体的な数字をお願いします。

○岡崎和広議長 答弁願います。

森田次長。

○森田一広事務局次長 ただいま御質疑いただきました財政調整基金の状況でございますが、令和 5 年度末残高の見込みで、5 億 383 万 4,538 円となります。内訳に關しましては、和光市の積立分が 4 億 1,516 万 7,000 円、通常分が 8,821 万 7,538 円となっておりまして、この内訳は、朝霞市分が 4,536 万 7,635 円、和光市分に関しましては 4,284 万 9,903 円となっております。

また、こちらの情報公開に關してでございますが、財政調整基金は年度末に確定しますので、そうしましたらこういった形で考えられるかということを検討させていただきたいと思ひます。

以上でございます。

○岡崎和広議長 質疑ありますか。

田辺議員。

○田辺 淳議員 私がここに来る前で議論がされているのだと思ひますけれども、もう一度確認しますけれども、朝霞市、和光市分でその金額が違ひ、どういう設定の仕方をしているのか。それぞれの違ひという部分で、設定の違ひを改めてお伺ひしておきます。

○岡崎和広議長 答弁願います。

森田次長。

○森田一広事務局次長 当組合の財源は構成市の負担金が主なものでございまして、その負担金の中身は、衛生費は人口割となっておりますので、その繰越し分が積み立てられておりますので、それで差額が出ているものでございます。

以上でございます。

〔「いや、それだけではなくて、和光市分」と言う人あり〕

○森田一広事務局次長 和光市分に関しましては、令和 4 年度から和光市で、今後、建設や解

体等も控えておりますので、そういったものを考慮しまして、令和４年度から積み立てており、その分が４億１,５１６万７,０００円多く積み立てているような状況でございます。

以上でございます。

○岡崎和広議長 質疑ありますか。

田辺議員。

○田辺 淳議員 では、確認します。

解体費用として、大体どれぐらいを見込んでいて、和光市でこの蓄積している部分というのは、基本的に解体の費用なんだということになりますか。

○岡崎和広議長 答弁願います。

高野施設課長。

○高野晴之施設課長 財政平準化のための和光市の積立額につきましては、解体費だけを念頭としたものではございませんが、今後の財政への影響も考えた上で積立てをいただいている状況かと認識しております。

また、解体工事の概算費用でございますけれども、実際には今後、また精査が必要と考えておりますが、当初入札公告時点での見込額としましては、解体工事のみで約６億円を見込んでいたところでございます。

○岡崎和広議長 森田次長。

○森田一広事務局次長 和光市の積立分の使い道に関しては、今、施設課長の話もあったように、使い道に関してはこれからということになりますが、和光市の財政課とも調整しながらやっていくものでございますので、今後の課題ということになってくると考えています。

以上でございます。

○岡崎和広議長 ほかに質疑ありませんか。

〔発言する人なし〕

○岡崎和広議長 以上にて質疑を終結します。

議案第２号について討論を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 討論がありませんので、討論を終結します。

議案第２号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」「異議あり」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議がありますので採決します。

議案第2号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○岡崎和広議長 挙手多数です。よって、議案第2号、令和5年度朝霞和光資源循環組合一般会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第3号、朝霞和光資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について質疑を許します。

〔発言する人なし〕

○岡崎和広議長 質疑がありませんので、質疑を終結します。

議案第3号について討論を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 討論がありませんので、討論を終結します。

採決します。

議案第3号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議ないものと認め、議案第3号、朝霞和光資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決しました。  
この際、暫時休憩します。

---

午後3時14分 休憩

午後3時15分 再開

---

○岡崎和広議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

---

### ◎一般質問

○岡崎和広議長 次に、日程第11、一般質問を行います。

通告が出ております。通告者は1名であります。

一般質問を許可します。

なお、質問につきましては、会議規則第51条の規定により回数は3回まで、質問時間は組合議会の申合せにより1回20分までとなっておりますので、御了承願います。

発言順位1番、田辺議員、通告書に従い、お願いします。

田辺議員。

○田辺 淳議員 A4の資料中2020年、2021年末まで、私はここに参加させていただきましたけれども、その後、この2022年、2023年は全くブランクで、その過程で、施設の建設の基本計画の策定と、それからまた事業者選定の準備ということがずっと進められてきたというふうに認識はしているわけですが、2枚目、簡単な資料ですが、A3の部分で、議会の開催の状況で、議案に対する質問者数だとか、一般質問者数だとかを載せましたけれども、議会に報告されていることも含めて、実際問題は、例えば、検討委員会で細かい点は議論するとか、建設検討委員会というのは、この1枚目の資料の第1回から第7回までで、この検討委員会をつくったのが基本計画ですよという、形はこの形、よくある審議会と同じような、総合計画の策定だとか、そういうものと同じように、実際問題はプロポーザルで、その前の段階、2021年5月に株式会社エイト日本技術開発と基本計画策定の業務委託をしていますので、そこが指導をして大体準備をしながら、物事を進めてきたんだろーとは思いますが、それにしても、形の上では検討委員会を経て基本計画を策定、その策定する過程でパブリックコメントをやったり、あるいは市民説明会というものも開いたりという形式は取った。それは、前々年度、前年度の話ですが。

2023年以降は、実施方針という形で、現実にはこの事業者選定委員会が動き出して、3回の選定委員会を経て、この費用対効果分析というものもつくりながら、入札公告を昨年4月にしたと。8月の時点で事業者が結局見当たらないということが判明して、8月には、議会のそのA3の資料の第3回ですか、8月9日には議会が開かれていますけれども、このときには全くそのことに関しては何も触れていないわけですが、決定を明確に出したのは、8月28日に入札中止ということで、実際問題はこの第4回、昨年の11月2日に、恐らく全員協議会、全員協議会は全くその議論も含めて、その議事録は公開されていないので、どんな議論があったのかを全く私は分かりませんが、全員協議会もそこで開かれた。全員協議会というか、これも10人のメンバーに対して説明をしたということでしょうけれども、どういう状況ですよということが昨年の11月2日の時点で第4回で説明をされた。

和光市の組合議員の方は皆さん御存知なんでしょうけれども、朝霞市の場合はメンバーが全部変わっているんで、そこは伝わっている人と伝わっていない人、私も全く知らないという状況がある。

ですから、資源循環組合と、そちらのいわゆる執行者と、それから議会というのは、構成市のそれぞれの議会から5人が選ばれて出てきていると言っても、そこも2年交代でその議



員が変わるという中では、全体を、今までの流れをずっと掌握できる議員というのは、本当にごく僅かではないかなと思うんですね。

私は、復習をしたいなという意味で今回は一般質問で、組合のこれまでの経緯及び今後の予定についてということで、1点目は（１）として、契約の内容、どんなものがあって、その方法なり金額なり、履行期間等とその具体をお伺いしながら、また財産の取得というのは、実際は用地取得、1万5,000ぐらいですか、平米数で言うとそれぐらいの用地をほぼ100%もう契約は終わっているということでしょうけれども、総額で大体どのぐらいの金額になるのかということを含めて、お伺いしたい。

それから、3点目に、ごみ処理広域化事業ということで、その概要を、これはもう一度復習をしたいと。それから検討の経過に関しても、私が先ほど言いましたけれども、漏れている部分があれば、それはそれで補足いただきたい。

それから、4点目として、支援事業者ということで、実際のコンサルが、かなりいろんなものをやっけていただいているんでしょうけれども、その内容と、今現状がどうなっているのかなということをもう一度確認したい。

それから、5点目、事業者選定。これまでの経緯、要求水準、特定事業等の具体。どのような経緯をたどって今どうしているのかというところ、補正もそうですけれども、補正の中身は全く見えてきていないし、もちろん次年度の予算も、先ほど言っておりましたけれども、その予算書の中には具体的には何ら触れられていないので、見えてこない部分をもう一度確認します。

それから、2点目、整備・運営方針について。実施方針、その具体と課題。それから、入札の経緯、不調の経緯及び理由、課題、今後。

それから、3点目として、再度公告入札。実施方針等、具体的に何を変更するのか。まあ、金額ということになるんでしょうけれども、その金額と言っても、どういった部分の金額の変更があって、それが大体どれぐらい、例えば、万博だとか、その前のオリンピックだとかいろいろと、かつてその大きな事業がどの程度の金額が上積みされてきたかということもそうですし、最近のこのいわゆる物価高騰、あるいは人件費高騰、人手不足とそういったことも含めてどのぐらいのこれ金額、今までの金額、足した金額423億円だったか、その金額、もう一度、その数字がどんな数字だったかということをそれぞれ分けて教えていただきながら、その部分のどこが一体上がってくるのか、どの程度上がるのか、その点をもう一度。

それを全部出してしまったら、それはなかなか。でも、実際問題、数字としては出して構

わないと思うし、その辺りをしっかりと公表しながら物事を進めていかなければもういけないのではないかということを確認したい。

それから、リスクについてということで、どんな事業でもリスクは伴う。ただ、今までも地震があったり、原発なんかの事故なんかもそうですけれども、想定外ということだよね。そのことというのはたくさん国内では多発しているのでね。想定内という、今リスクとしてはどんなリスクを考えられているか。想定外というのは、想定できないでしょうから、リスクとして出しようがないけれども、仮に想定外リスクがあった場合にはどうされるのか。その分担の具体として、多分、業者とのやり取り、質問のやり取りでもそういった議論があったんだろうと思うんでね。その部分も併せて、業者はどういったことを心配されているのかということも含めて教えていただきたい。

それから、財政見込みについてということで、内容とコンセンサス、これまで広報されている財政見込みの具体と、少なくとも市民が見るものとして、一体どこまでが伝わっているのか。皆さんの執行者としては伝えているのか。それをもう一度。何度も重なって申し訳ないですけれども。

それから、広報ということと言ったときに、私は、ホームページに関しても、もう少ししっかりと整理していくべきではないかということも併せてお伺いをしておきたいのですが、それは次の、後で。

それから、再度入札の影響、今後の見込み、先ほど言ったことと重なりますのでいいです。

それから、4点目ですけれども、組合及び議会の今後についてということで、撤退を含めて検討という、どこまで言い値を飲むんでしょうかと。言い値という表現がどうか分かりませんが、実際問題、これどんどん金額が上がっていったときに、それぞれ和光市も朝霞市も、それを全部、もう仕方がないとどこまでも受けていくのかなという、そこは非常に気になる場所ですし、ただ、残念ながら、こういった形で、それぞれの議会でこういった議論があれば、もう少し市民も交えて検討なり、その制動というものが利くと思いますけれども、今のスタイルというのは、本当に規制というのが非常に働かない。

2市の分担金という形で、最初のうちは少ない金額で分担されていますけれども、これがどんどん一気に膨れ上がっていくということはもう間違いないと。

当初はね、その運営の部分だけで毎年9億円と言っていましたけれども、もう当然9億円では済まないでしょうという話になりますよね。もちろん建設費は別ですから、建設費用とか、解体費用とか、それはそれでまた別の費用が、それは借金でかなり、それを最初賄って

いくんでしょうけれども、その借金も当然返済をしていかなければいけないということになる。その年額の負担というのはかなりの負担になるだろうと。

その負担の金額が実のところつまびらかになっていないのではないかなと思うんですけども、安定状態になったときに、負担金額というのは、最高どれぐらいになるのかなと、教えていただきたいなと。

所掌及び事務所ということに関しては、今後、これは実際に業者にどこまで運営に関して委託をするのかということに関して、もう一応検討はされていた。それは広報されているわけですけども、実際にこれを動かし始めた後に、市民からいろいろな異論が出たときには、その部分に関してはなかなか、この組合の中でもチェックしづらい状況になるのではないのかなということで、いわゆる事業者が所掌するものと、それから組合で所掌できる、議会で検討なり議論なり追究できるものというのは、この点、少し明確にしておいたほうがいいのではないのかなということを確認したい。

あと、広報は先ほど言いかけてしまったけれども、今の状況というのは非常に少ない情報量でしかないということと、あとは、言っておきたいのは、ホームページ上で、例えば、11月2日の議会の議事録も公開されていませんしね、今の時点で。契約に関しても、令和4年、5年度分の契約に関しても何ら掲載されていない。契約がなかったのかどうかということも含めてですけども、非常にそういう広報体制が弱いのではないかなということをお伺いしたい。また、その在り方に関して重ねてお伺いします。

○岡崎和広議長 田辺議員に申し上げます。質問の途中ですが、休憩したいと思います。

この際、3時45分まで休憩します。

---

午後3時29分 休憩

午後3時45分 再開

---

○岡崎和広議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

田辺議員の質問に対する答弁を願います。

高野施設課長。

○高野晴之施設課長 発言事項1、組合のこれまでの経緯及び今後の予定についてのうち、

(1) 契約の内容等について御答弁申し上げます。

これまで組合が契約した内容につきましては、令和3年度以降の主なものとしまして、地

質調査業務委託契約、生活環境影響調査業務委託契約、基本計画策定等業務委託契約、土壌汚染状況調査業務委託契約、測量業務委託契約などがございます。発注方法につきましては、基本計画策定等業務委託契約は公募型プロポーザル、それ以外のものは指名競争入札となっております。

また、各履行期間、契約金額につきましては、地質調査業務委託契約が令和3年5月7日から令和3年12月24日までで804万1,000円、生活環境影響調査業務委託契約が令和3年4月30日から令和4年12月28日までで2,492万6,000円、基本計画策定等業務委託契約が令和3年5月25日から令和7年3月31日までで7,986万円、土壌汚染状況調査業務委託契約が令和3年10月7日から令和4年3月31日までで911万9,000円、測量業務委託契約が令和3年4月30日から令和4年1月28日までで1,045万円となっております。

次に、（２）財産の取得について御答弁申し上げます。

取得財産の内容及び利用目的につきましては、ごみ広域処理施設の建設用地として取得しておりまして、全体で1万6,271平米、16件24筆、全ての土地購入費の見込額としましては、12億3,657万1,800円となっております。

今後につきましては、代替地への移転及び引渡しが完了する事業用地について、現在移転作業を進めておりますので、事業に支障がないよう対応してまいります。

次に、（３）ごみ処理広域化事業について御答弁申し上げます。

ごみ処理広域化につきましては、令和2年5月に朝霞市・和光市ごみ処理広域化協議会においてごみ処理広域化基本構想策定後、令和2年10月1日に朝霞和光資源循環組合を設立し、ごみ広域処理施設の整備に向けた検討を進めてまいりました。共同処理の対象となるごみ種については、可燃ごみ及び不燃粗大ごみとし、施設稼働後、組合ではこれらのごみの中間処理と残渣等の資源化及び処分業務を実施してまいります。

また、施設規模は、ごみ焼却施設が日量175トン、不燃粗大ごみ処理施設が日量17トンで、建設予定地につきましては、和光市新倉八丁目地内となっております。

検討の経過でございますが、各種調査業務の実施と並行しまして、施設整備に関する方針を検討するため、ごみ広域処理施設建設検討委員会において審議をいただき、計画素案についてパブリックコメントを経て、再度、建設検討委員会での審議をいただき、令和4年9月に答申をいただいた後、組合においてごみ広域処理施設整備基本計画を策定しております。

次に、（４）支援事業者について御答弁申し上げます。

支援業務の内容につきましては、和光市旧ごみ焼却場の解体計画及びごみ広域処理施設整

備基本計画の策定等のほか、事業者選定に係る技術資料の作成など、整備・運営事業者と契約を締結するまでの一連の調査、計画策定等について、専門技術的な面から包括的な支援を受ける内容となっております。

現在は、令和5年8月の入札中止を受け、入札手続が1年延長となったことから、支援事業者との契約も併せて1年延長させていただき、令和6年4月の再度公告入札に向けた事業費の見直しや入札公告資料の準備等について引き続き支援を受けているところでございます。

次に、（５）事業者選定について御答弁申し上げます。

事業者選定につきましては、競争性及び公正性を確保し、客観的な審査及び評価を行うため、条例により5名からなる事業者選定委員会を設置しており、委員会は管理者からの諮問に応じ、選定方法や選定基準について審議するとともに、事業者から提出された提案書の審査を行い、その結果を管理者に答申するものとしております。

これまでの経緯につきましては、当初入札の公告前となります令和4年度に選定委員会を3回開催し、選定スケジュールや実施方針のほか、施設整備や運営の仕様等について定めた要求水準書、落札者決定基準等の入札公告書類について審議を行ってまいりました。

また、ごみ広域処理施設整備・運営事業をDBO方式により実施することから、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第7条に定める手続に準じまして、当初入札の公告前に、民間の技術力等を活用することによって、効率的かつ効果的に実施できる事業であることについて客観的な評価を行い、特定事業として選定を行ったところでございます。

次に、発言事項2、整備・運営方針についてのうち、（１）実施方針について御答弁申し上げます。

新たに建設するごみ広域処理施設は、設計建設業務及び20年間にわたる運営維持管理業務を一括で発注し、民間事業者のノウハウ等を活用するDBO方式により実施することとしているため、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第5条に定める手続に準じまして、実施方針を定め、公表しているところでございます。

実施方針の内容といたしましては、事業の内容に関する事項、事業者の募集及び選定に関する事項、事業の適切かつ確実な実施の確保に関する事項、公共施設等の立地並びに種類及び規模に関する事項などについて組合としての方針を定め、公表しているところでございます。

次に、入札の経緯について御答弁申し上げます。

初めに、ごみ広域処理施設整備・運営事業の入札の経過でございますが、選定方法は、総合評価一般競争入札方式を採用し、令和5年4月7日に入札公告を実施させていただきました。5月に入札説明書等に対する第1回目の質問回答を行い、その後、6月16日に対面的対話を実施、7月には第2回目の質問回答の手続きを経て、入札参加希望者からの発注仕様の確認や技術的な疑問点などについて対応を行ってまいりました。

しかしながら、8月25日になり、入札参加者から入札辞退届が提出されたことにより、入札参加者が不在となったため、8月28日に組合としまして入札中止を決定し、公告させていただいたものでございます。

入札辞退の理由につきましては、昨今の建設業の需要状況により、土木建設工事の単価が上昇していることや、電気設備等の下請企業を確保することができなかったこと、また、下請企業より適切な見積りを入手することができなかったことなどにより、入札額が予定価格を超過したものと伺っております。

今後につきましては、再見積り等の調査の実施とともに、直近の同種他事例における実勢価格等の調査を踏まえ、予定価格の検討を進めてまいります。

次に、（３）再度公告入札における実施方針等の変更内容について御答弁申し上げます。

当初公表した実施方針との主な変更点といたしましては、入札が中止されたことによる影響点でございまして、再公告から契約締結までの事業者選定スケジュールが約1年遅れること、また、令和6年度より建設業に適用されます改正労働基準法の影響に伴う建設現場の週休2日制にも配慮し、本事業の建設工期を約4年から5年に1年延長することにより、新施設の稼働時期を2年遅れとしたことなどが変更点となっております。

また、金額につきましては、先ほどの御答弁のとおり現在検討中でございますので、引き続き精査を行ってまいります。

次に、（４）想定範囲内のリスク、想定外のリスク、その分担について御答弁申し上げます。

想定範囲内のリスクといたしましては、物価変動リスク、ごみ量の変動リスク、売電収入の変動リスクなどが挙げられます。また、想定範囲外のリスクとしましては、不可抗力などのリスクであり、地震などの天災や暴動などによる費用の増大、計画の遅延、作業の中止などが該当すると考えております。

リスク分担の考え方でございますが、民間事業者が管理できるリスク、また民間事業者に帰責事由があるリスクは民間事業者の分担とし、それ以外のリスクについては、基本的には

組合が分担するものと考えております。

また、これまでの入札説明書等に対する質問等の中でいただいた事業者からのリスクに関する御意見としましては、物価変動に対するスライド条項の適用や、組合が行うことになっております処理資源化業務、また売電収入等の帰属につきまして、組合で対応していただきたいというような御意見がございました。

次に、発言事項４、組合及び議会の今後についてのうち、（１）撤退を含めた検討について御答弁申し上げます。

ごみ広域処理施設整備・運営事業につきましては、老朽化が進む構成市のごみ処理施設の現状を踏まえ、将来にわたり安定的なごみ処理体制を維持していくためにも、早期の施設整備が必要なものと考えておりますので、昨年11月に開催させていただきました全員協議会において御報告させていただきましたとおり、令和12年度の稼働に向けて着実に事業を進めてまいりたいと考えております。

なお、入札辞退の理由が建設工事費の上昇であったことから、現在事業費について検討しており、再見積り等調査の結果だけではなく、客観性を担保できるよう、直近他事例における落札状況や、デフレータの推移なども含めまして、実勢価格について慎重に精査を行い、適正な予定価格決定に向けて検討を進めてまいります。

次に、（２）整備・運営事業における運営と事業者の役割分担について御答弁申し上げます。

事業者と組合の業務分担につきましては、要求水準書において定義をしておりますが、設計建設業務では、対象施設の設計建設、官公署への申請、重機の調達、工事説明会の実施、また運営事業者への運転維持管理保守に係る指導などを事業者の分担としており、組合では敷地の確保、設計施工モニタリングの実施、住民対応、交付金申請等について対応していくものとしております。

また、運営業務におきましては、受付計量業務、運転管理業務、維持管理業務等の施設管理に係る業務を事業者の分担とさせていただき、組合といたしましては、運営モニタリング、焼却残渣等の処理・資源化業務、余剰電力の売却業務、資源物の売却業務、住民対応業務、行政視察等の対応業務を行うこととしております。

○岡崎和広議長 森田次長。

○森田一広事務局次長 発言事項３、財政見込みについての（１）内容とコンセンサスについて御答弁申し上げます。

これまで広報されている財政見込みにつきましては、令和4年9月に策定したごみ広域処理施設整備基本計画の財源計画においてお示ししており、市民の皆様にはホームページでお知らせしているところでございます。

具体的な金額としては、税抜きで施設整備費の概算事業費を239億円とし、財源として交付金60億円、起債160億円、一般財源19億円としております。

また、運営費につきましては、年間9億円と見込み、一般財源としております。

次に、現在の起債状況、財源についてということでございますが、まず、用地取得のための起債額は、現在、合計で13億6,760万円を予定しているところでございます。

それから、あくまでも当初入札予定価格を基にした稼働後の財源についてでございますが、こちらは仮の金額にはなりますが、運営費で9億円、建設元利償還で8.7億円、処理資源化で2.7億円、年間で約20億円と試算してございます。

次に、発言事項4、組合及び議会の今後についての（3）広報について御答弁申し上げます。

組合では、住民が必要と思われる情報を公開することが住民参加の機会と捉えていることから、ホームページ等を活用し周知しているところでございます。

先ほど議員から御指摘があったホームページの整理、充実についてでございますが、こちらは我々としても重要なものと考えておりますので、今後とも調査研究して、どのように充実できるか考えていきたいと思っております。

また、組合の意思決定を行う際には、公平性、透明性のある組合を目指して、積極的に住民に情報を発信し、開かれた組合となるように今後も努めていきたいと考えております。

以上でございます。

○岡崎和広議長 質問ありますか。

田辺議員。

○田辺 淳議員 契約に関して確認しますが、令和5年度中の契約というものに関しては、資料で見たときなんですけれども、具体的に何か計画も含めてあるのかどうか。

この基本計画策定等業務と施設整備・運営事業に係る設計施工監理業務、その部分に関して、今のところホームページ上は載っていないので、金額がもう決定していると思っておりますけれども、この金額をまず教えていただきたい。

あと、最初の、2020年、令和2年度中にもう2件あったのは、この資料には記載を忘れましたけれども、その資料の完成をさせる意味で、2023年の2つの契約に関しては、金額が、



私が見る限りはホームページ上では見るができなかったもので、年度中、途中でであっても、これは広報の話とも重なりますけれども、契約が完了した段階で広報に載せていっていただきたい。その決算が終わった後に載せるのかどうか分かりませんが、そういった発想ではなくて、契約が完了した段階で広報にも載せていただきたい。

今の時点では、私は少なくともこの2つの契約が一体幾らで契約がされたのかということが分からないので教えていただきたい。

一番重要な部分としては、ごみ広域処理施設整備基本計画策定等業務委託、予算のところでもやりましたけれども、もともとはプロポーザルでやったと。これに関して、プロポーザルの契約自体の金額がその時点で、プロポーザルで株式会社エイト日本技術開発に決まりましたということは書いてありますけれども、金額は載っていない。

プロポーザルでやったとき、プロポーザルは実際は随意契約なので、契約の金額がね、その当初金額が幾らであったのかということをもう一度確認をします。

先ほど7,986万円という話がありましたけれども、それは契約更新も含めた金額なのか、それも併せて確認したい。

あと、財産の取得に関しては、起債でかなりやっているんだと思いますけれども、もう一度その100%契約が終わって、それで先ほど、もともと費用対効果分析のところにも財産の取得の金額が大体13億7,100万円と見積もっているということで、先ほど13億6,700万円というような話がされていましたが、これで総額になるということで、その中の起債部分がどれだけであって、それがどういう形で償還されるのかということを確認したい。

それから、ごみ広域処理化事業かな。それはいいか。

事業者選定の部分に関してですけれども、これは先ほどの話も含めて、後の整備運営方針も再度公告等も絡めた話で一括でお伺いしておきますけれども、一つはその実施の方針の中身として、特に、もう一度確認したい部分としてはDBO、もともとPFI法の中のDBOでいきますよという話ですけれども、もう一度確認したいんだけど、もともとPFI法というのはイギリスで始まったんでしょうけれども、民間の事業者の資財を活用して、もともと事業者が造って、その費用も含めて事業者がというところから、もともとPFIはそういう形で設定していたのが、現実このDBOというのは、実際問題、全部組合が造って、運営を事業者に任せると。だから、お金の準備は全部こちらの組合で準備して、運営を任せると。だから、造るに当たって、造るところから契約をします。その建設の費用と、それから監督の部分と、それから運営の部分もというその話でね。

このときにやはり不安があるのは、建設の監督というのが、これ一体で、事業者から市の側として、どの程度その部分の管理ができるのかということと、それから、そもそも委託、市というか組合がつくって、それで業者に委託するというのと何が違うのかなと。むしろ長期にわたって、20年間とか20年以上という漠然とした表現ですけれども、一応20年は最低運営をしていただくというその契約をするんだという話でね。

つまり、委託の契約の期間が尋常ではない長さでそれが行われるという部分が違うかなと思うんですけれども、その違いをちょっともう一度確認したいなと。

DBOと言いますけれども、もうそもそもPFIと言ってきたそのものは随分変質していて、現実にはあんまりメリットはないんじゃないですかということが非常に気になるところでそれを確認したい。

それからリスク、その前か。

一応、取りあえずリスクの部分もお伺いしておきますけれども、これは結局のところ、ある程度その想定内、想定外といったときに、自然災害といった場合には、あの場所が排水地域であって、なかなか今まではそういうことは想定できないけれども、荒川の河川敷であることは間違いないので、そこが破堤した場合には、堤防が破堤するような事態が起こった場合には、ごみ処理そのものも、なかなかそこに持ち込むこともできない、ままならない状況にもなるんだろうし、それで何らかの機械が故障するとかそういったことも含めて、今のところそんな想定はしにくいですが、ただ、この間のいろんな地震災害とか水害とか、そういった昨今の状況というのは、いわゆる、その想像を絶するような異常の地球規模の災害が頻発し始めているので、そういう意味では、これに関してもそんなに順調に行くとも想像しにくいですね。

その意味で、今の時点で、それは例えば保険だとか、そのリスクに関して何かヘッジするものがあるのか。何かその部分に関しては、具体的にお考えの部分があればお伺いしたいなと。

それから、財政見込み、これはなかなか現実には何度聞いたところで出てこないんでしょうけれども、実際問題ね、分かりやすいのは、昨年3月にごみ広域処理施設整備運営事業に係る費用対効果分析結果というものが一応公表されているので、私は、中身としてはとんでもない、とんでもないというか、民間の事業者にごみ処理を任せた場合と今回のこの資源循環組合で一括してやる場合との比較というやり方なので、それは比較にもならないというかね。民間事業者にごみ処理を全部任せたら、それはべらぼうなお金がかかるんだろうから、

そこと、そことの費用対効果を比較するということが自体、私はナンセンスだと思いますけれども、それはそれでいいとして、そこに記載されている費用の計測の中で、例えば用地取得費が書いてあったり、施設建設費用として260億円、あるいは運営維持管理費として191億円、20年間という形で金額が、あとは焼却残渣の処理の費用、その委託費として1トン当たり2万9,791円、焼却灰がね。あるいは飛灰の処理費用が1トン当たり3万6,537円というような形で、具体的にその金額が、いわゆる、まず前提として、その資源循環組合でやった場合にはこうなりますよという数字がそこに記載されているので、それと民間の事業者にそれを全部任せた場合との比較を、この文書ではされているわけですがけれども、その部分に関して、それぞれこの部分が今後上がっていくのかもう一度確認したい。全てなのかね。

それから、総額で言うとなどのぐらいになるのか。

もう一度確認したいのは、先ほど最初にも言いましたがけれども、和光市、朝霞市それぞれで分担金、負担金がどれだけ年度ごとになっていくのか。これが一番皆さんの関心があるところなので、それが費用対効果の分析という、本来するべきなのは、今やっている事業。和光市は分かりませんが、それは民間に事業を今委託しているとすれば、それはそことの比較というのはできるでしょうし、朝霞市の場合は、少なくとも今動かしている焼却炉、そことの比較を本来するべきではないかなと。

この焼却炉が止まるんだという前提かもしれませんが、焼却炉、2年延期するといつて、2年延期しても動きますという前提が今もう既にあるわけですね。これずるずる延期することもできるのではないのかなと。

私は、申し訳ないけれども、そもそも原発でさえ、40年、50年と稼働しようという時代にね、このごみ焼却炉を30年稼働していますと、それを40年にしますと、50年にしますと言っても、問題は、その耐火レンガだとかそれを取り換えてというレベルの、原発とは全く違う非常に単純なストーカ炉であったり、そうした焼却炉で、それは耐用年数ということ言うならば、減価償却が終わっているのかもしれないけれども、いわゆる減価償却が終わってから稼働させることに、それこそ私は意味があると思うんですね。

いろんな社会、あまりにも減価償却、減価償却を言い過ぎて、まだ償却し切っていない、償却し切っていないというのは、つまりまだ動かせるものをどんどん新しく替えてしまう。だから古いものが残らない。

ヨーロッパなどと比べて、建物でも何でも、次々に新しいものに替えてしまうというのは、古いものは残らないというのは、何でもかんでもそうやって減価償却で全て一律、償却

し切ったものをまた新たに替えようという。

私は、使えるものであるならば使い続けるべきだと思うので、その発想の違いというのは非常に重大だと思いますけれども、そういうことも含めてね。

今の見積もっているこの金額で、朝霞市、和光市、今後一体幾らの負担金になるものなのかね。

ではその、少なくともですよ、今までの数字で言ったときに、運営費が9億円と、それに建設費用だとか、そういうものを分配したときに、あるいは用地取得費の起債部分、それも含めた負担金というのはそれぞれどれぐらいの金額になるのかね。

そもそも今までの423億円という数字がはじかれていましたけれども、それを数字で言った場合に、年間それぞれの自治体が、朝霞市、和光市が幾らの負担額になるのかということ、少なくともつまびらかにはしておくべきだと。その上で、それが一体幾らに上がっていくのかということを私は知りたいわけですが、出てこないんでしょうから、そこは、やめておきますけれども。

どこまで言い値を飲むんでしょうかというものを、私は、その許容範囲というのではないんですかということをもう一度確認したいんですね。

それから、所掌、事務所に関しては、聞きたいのは運営業務、先ほどのDBOのやり方と、言ったときに、気になる部分としては、市民のチェックというのが本当にこれで働くのかなと。

それで、モニタリングに関しても、施設のモニタリングをするのが、この組合の業務としてであると言っているわけですが、そのモニタリングの中身に関して、具体的にどんな中身なのかということも併せてお伺いしておきたいなと。以上です。

○岡崎和広議長 答弁願います。

森田次長。

○森田一広事務局次長 それでは、起債の償還内容ということでございますので、これまでの起債の償還条件でございますが、まず土地の取得についてでございます。

利率が0.14%から0.75%で、償還期間は10年となります。令和5年度は元利合わせて1億1,120万9,151円をお支払いする予定でございます。

それから、令和6年度は1億4,287万2,000円を償還する予定でございます。

次に、建設費等についてでございますが、こちらは建設費の具体的な部分がまだ出ておりませんが、今のところは20年の償還期間で考えてございます。

以上でございます。

○岡崎和広議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 順次、御答弁申し上げます。

まず初めに、令和５年度における業務委託の金額でございます。

本日、資料をお配りいただいているかと思いますが、基本計画策定等業務につきましては、1,848万円、施設整備・運営事業に係る設計施工監理業務につきましては、先ほど補正予算として審議いただきましたが、繰越明許費となっておりますが、想定額は402万2,000円となっております。

また、令和５年度に実施している業務の内容でございますが、基本計画策定等業務のほかに建設用地雑草刈払等業務委託を実施しております。執行額は現在のところ44万7,513円となっております。

次に、設計施工監理業務の想定事業費でございますが、令和６年度から令和11年度までを合わせまして、税込みで約３億4,000万円程度必要になるのではないかと想定をしております。事業費については、今後さらに精査をした上で、公募型プロポーザルにするのか、また別の契約手法を取るのか、構成市における工事監理業務の状況も踏まえながら検討してまいりたいと考えております。

次に、プロポーザルの当初の金額でございますが、発注時点の予定価格においては税抜きで7,741万円を上限額として発注しておりまして、プロポーザルの結果、契約金額につきましては税込みで6,820万円となっております。

また、先ほど御答弁させていただいた7,986万円につきましては、変更契約後の総額となっております。

次に、ＤＢＯ方式についてのメリットの考え方でございますが、施設の維持管理や運営を見据えた設計建設、こちらが可能になると考えておりますので、プラントメーカー等の民間ノウハウが発揮されることで、一括発注による費用縮減のメリットがあるほか、事業資金については、先ほど御質問にもありましたが、公共が調達するため、一般的に行われているＰＦＩ事業と比較しまして金利のメリットが発揮される事業手法であると考えております。

次に、災害への対応の御質問でございますが、こちらにつきましては、組合また事業者双方がそれぞれ保険に加入することを想定しております。

また、不可抗力への対応につきましては、標準契約約款の中で、１％までの費用負担については受注者が負担し、それ以上については発注者が負担するというルールが設けられてお

りますので、それに準ずる考え方で今のところ想定をしております。

次に、費用対効果分析について御答弁申し上げます。

費用対効果分析の分析方法でございますが、国が示す通知に基づきまして、今回10億円以上の事業について実施が求められている手続となっております。

比較の対象としましては、広域処理施設を整備する場合と、整備しなかった場合の比較を実施しておりますが、整備しない場合には、現在の施設の稼働ではなく、整備した場合と同様の効果を有する外部委託によって処理する場合を比較対象として実施をしております。定量評価の具体でございますが、整備をしない場合の費用については、先ほど申し上げた外部委託になるのですが、構成市において、現在取引実績があります県内の一般廃棄物処理施設へ委託処理をした場合を念頭として、運搬費及び処理費のほか、積替保管施設の整備、維持管理費用を積算した上で、現在進めておりますごみ広域処理施設整備・運営事業の用地取得費から各種調査、設計、建設、20年間の運営費までを合算した費用について比較を行っております。

費用対効果分析の結果といたしましては、ごみ広域処理施設を整備した場合には、建設初期に多くの費用を必要としますが、施設稼働から11年目の時点で外部委託とした場合の累計額が、ごみ広域処理施設を整備した場合の費用を上回ることから、費用対効果が認められる事業であると評価をしております。

こちらにつきましては、今、事業費の見直しを行っているところですので、改めてこの効果について整理をして、公表したいと考えております。

次に、モニタリングについて御答弁申し上げます。

ごみ広域処理施設整備事業におきましては、民間事業者において設計施工から運営を行っていくこととなりますが、発注時にあらかじめ設定した施設整備や管理運営の要求水準、また技術提案の内容が適切かつ確実に履行されているかについて、施設管理者であります組合が定期的に測定、また評価していくことは重要であると考えております。

このことから、事業期間に亘り、御質問にもありましたとおり、定期的にモニタリングを実施し、不具合の未然防止やサービス水準の確保に努めてまいります。

実際には、事業者自らもセルフモニタリングを実施していただくことを想定しておりますが、組合では、業務日報、また業務月報の確認と併せて、随意モニタリングを実施させていただく予定であります。

モニタリングの結果、要求水準が契約条項を満足していないと認められる場合には、是正

勧告を行い、複数回の是正勧告にもかかわらず業務改善が図られなかった場合には、委託料の減額を行うことも想定をしており、基本的な考え方については、入札説明書において改めて公表する予定でございます。

なお、具体的な手順等については、事業者決定後の協議により、モニタリング計画を定め、実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○岡崎和広議長 質問ありますか。

田辺議員。

○田辺 淳議員 長いことはやめておきますけれども、今のモニタリングの話で気になるのは、例えば20年以上前ですけれども、朝霞市でいわゆる二重計量の問題があって、本当は和光市もかんでいたんですけれども、同じ事業者がね、朝霞市と和光市だとか、ほかのところともその仕事を請け負っているということの中で、そのごみの、いわゆる台貫に載せるごみの量を二重計量するというようなことで、そういったいわゆる計量の数字のチェックだとか、そういったものが、例えばお金に関して確認をしておきたいのは、結局ごみ量が増えて、ごみ量の中身に関してもその費用負担に関しては、組合が負担をする形になるんだろうと思うんですね。持込みはもちろんそれぞれの自治体でやるにしても、そこから先のごみの量が例えば増えた減ったという部分に関するそのお金の負担に関しては、組合の部分だと思いますけれども、そうなったときに、二重計量でやられれば当然ごみ量が増える形に、計量的にはなっていて、その費用負担は当然組合から負担金で出さざるを得ないということもあり得るわけですね。

だから、そういう部分、いわゆるチェック機能という部分で想定、その当時は想定外の話で、そんなことはあり得ないと思っていたことが実はされていたということが報道によって暴露されて、ちょうど今の副管理者が市長になった直後だったから、大変な思いをされたかと思えますけれども、そういったことが過去にあるということも含めてね、やはりどの程度そのチェック機能が働かせられるのかというような、それとこのDBO方式のその部分で、今まで委託をしているそのこと以上に、そういった部分に関してはお任せになりはしないかなということが非常に気になるのであって、これは、もっともっと先の話ではありますけれども、その部分をお答えいただきたいなど。

あと細かいところはまたやらさせていただきますので、今日はこのくらいにしておきます。

○岡崎和広議長 答弁願います。

高野施設課長。

○高野晴之施設課長 運営後に想定される課題等については、御指摘をしっかりと受け止めまして、構成市における過去の経緯、またその後の対応等について確認をさせていただいて、同じようなことが起こらないよう、モニタリング計画をしっかりと、事業者と協議をすることにはなりますが、定めた上で、できる限り議会に対しても説明をしながら、信頼いただける形で進めていきたいと思っております。

以上でございます。

○岡崎和広議長 以上で田辺議員の質問は終了しました。

---

### ◎閉会中の継続審査

○岡崎和広議長 次に、日程第12、閉会中の継続審査についてお諮りします。

議会運営委員長から、次の議会の会期予定について、次の議会の質疑、質問について、議会に関する条例、規則、規定に関することについて、委員の選任に関することについて、その他議会運営に関することについての5点を閉会中の継続審査としたいとの申出がありました。

閉会中の継続審査として議会運営委員会に付託したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議なしと認めます。よって、議会運営委員長の申出のとおり、次の議会の会期予定等について議会運営委員会に付託し、閉会中の継続審査事件とすることに決定いたしました。

ここで、今期定例会の発言につきまして、会議規則第43条の議決事件の字句及び数字等の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議なしと認めます。よって、議決事件の字句及び数字等の整理は議長に委任することに決しました。

---

### ◎閉議と閉会の宣告

○岡崎和広議長 お諮りします。



本定例会に付議された案件の審議は全て終了しました。よって、会議規則第7条の規定により閉会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○岡崎和広議長 御異議ないものと認めます。よって、令和6年第1回朝霞和光資源循環組合議会定例会を閉会します。

午後4時26分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和6年2月6日

議 長 岡 崎 和 広

前 議 長 富 澤 啓 二

前 副 議 長 岡 崎 和 広

署 名 議 員 小 池 貴 訓

署 名 議 員 安 保 友 博